

障がい者千人雇用センター始動

企業と障がい者との架け橋に

障がい者の職場定着に向けた支援や新規就労者・新規就労先を開拓するなど、就労・生活支援を行う「総社市障がい者千人雇用センター」が4月2日、総合福祉センターに開所しました。

市では障がい者の雇用を進めるうえで、「知る」「雇う」「継続する」の3つの循環を今後の取り組みの柱とします。そのうち同センターは「雇う」と「継続する」を念頭に、企業と障がい者の架け橋になって就労のきっかけづくりや雇用を継続するための支援などを行います。

問い合わせ 市障がい者千人雇用センター (☎92-8379)



総合福祉センター1階に開所した障がい者千人雇用センターの事務室



第4回市障がい者千人雇用委員会

第4回市障がい者千人雇用委員会が3月29日、総合福祉センターで開かれ、「知る」「雇う」「継続する」の3つの循環を今後の取り組みの柱とすることを確認しました。

同委員会の江草安彦会長（社会福祉法人旭川荘名誉理事長）は、「知恵を絞り、情熱を傾ければ目標は達成できる。千人というこだわ

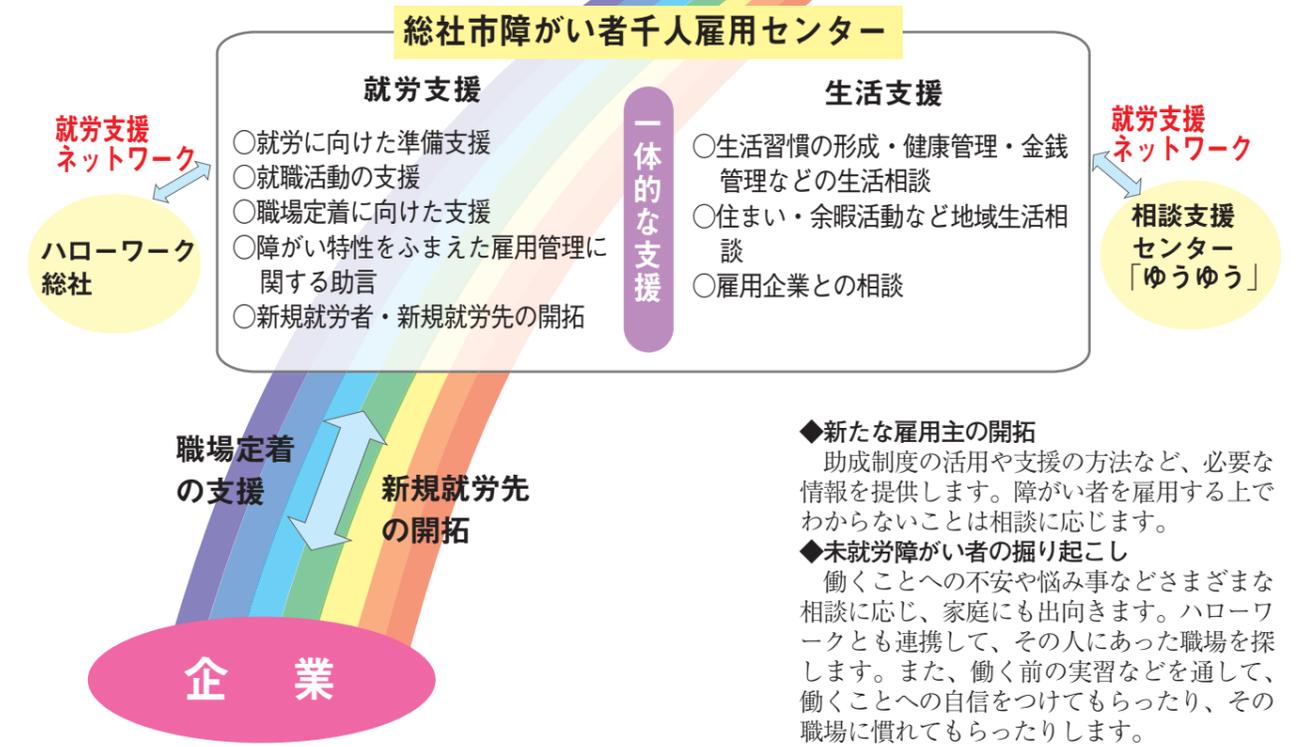
りをもって取り組んでいく」とあいさつしました。

委員15人が出席。市は、障がい者千人雇用センターや、地産地消の「地・食べ」で雇用の場を検討していることを説明。協議では、障がい者について企業や市民に一層知ってもらう必要性や、農業分野での雇用創出に活路があることなどの意見交換が行われました。

◆就労後もサポート

就労してからも、安定して働くことができるよう関係機関と連携をとりながら必要な支援を行います。

企業側に対しては、障がい者を雇用していく上で困っていることやわからないことなどを聞き、アドバイスします。また、障がい者の雇用が継続するように、雇用している障がい者について気づいたことなどを、企業と障がい者の間に入り、相談を受けます。



◆新たな雇用主の開拓
助成制度の活用や支援の方法など、必要な情報を提供します。障がい者を雇用する上でわからないことは相談に応じます。

◆未就労障がい者の掘り起こし
働くことへの不安や悩み事などさまざまな相談に応じ、家庭にも出向きます。ハローワークとも連携して、その人にあった職場を探します。また、働く前の実習などを通して、働くことへの自信をつけてもらったり、その職場に慣れてもらったりします。



教育長に山中榮輔さん 市では初めての民間からの就任

山中 榮輔 教育長

4月1日に開かれた教育委員会では、教育長に任命された。市では初の民間出身者の教育長となります。就任の会見では、「総社市の教育行政の課題は、子どもの心の問題、学力向上、吉備路マラソン、吉備路郷土館の活用など多岐にわたっている。これまで得た知識や経験を生かし、現場とコミュニケーションを図りながら市の教育発展のために尽くしたい」と話しました。

任期は、4月1日から平成25年5月11日までです。

経歴

◆最終学歴

昭和44年 3月 神戸大学大学院工学研究科
修士課程機械工学専攻修了

◆職歴

昭和44年 4月 川崎製鉄株式会社入社
平成14年 4月 同社常務取締役水島製鉄所長
平成15年 4月 JFEスチール株式会社
専務執行役員西日本製鉄所長
平成17年 4月 JFEシビル株式会社
取締役社長
平成20年 4月 JFE物流株式会社
代表取締役社長
平成23年 4月 同社 相談役
平成24年 3月 同社 退社